

## 9. 冰山と流氷

冰山は陸の上で凍結した氷原が氷河となって徐々に谷を下り先端が海にせり出すと崩れ落ちて冰山となって漂流するのです。衝突した冰山は、グリーンランドの北部の山地は全て氷に覆われている分厚い氷床です。これが氷河となって谷を下りグリーンランドの北緯 70° 付近にあるディスコ湾に崩れ落ち、このようにしてできた冰山は湾内から外洋に流れ出すとラブラドル海流(寒流)にのって南下するわけです。従って、冰山の中身は真水です。

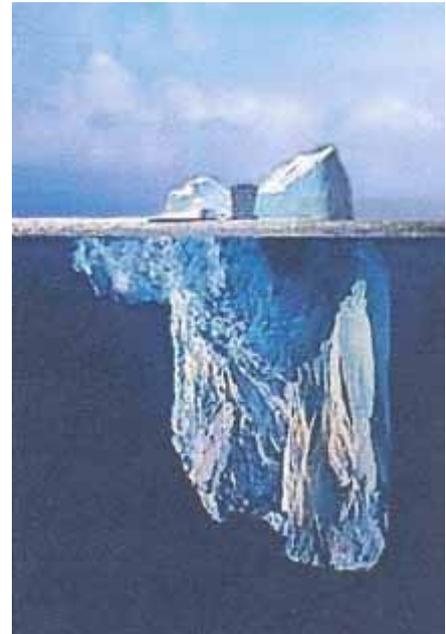
大西洋に流れ出し、航海者を悩ませる流氷の大半の源はここからのものです。

グリーンランドは島全体が冰山と言っても過言ではない感じです。それでも沿岸に集落があり、主に漁業で生計を立てています。私も数度魚の買い付けに行ったことがあります。デンマーク領ですが、自治政府があり非常に友好的でした。

流氷は海水が凍ってできたものが春になって流れ出したのが流氷で、成分は海水です。この付近の流氷は北緯 70° 以北にあるバフィン湾の海水が凍結し、春になると割れて流れ出し流氷となりますが、冰山のように大きくはありませんから衝突すると損傷を受けるほどではありません。しかし海全体が流氷の群はちょうど北海道の網走付近で見られる流氷群と同じです。

もう一つ、この付近には別系統の流氷群があります。ニューファンドランド島の西側でセントローレンス湾にある流氷群で、こちらは真水でできた流氷です。

アメリカとカナダの国境に沿ってある五大湖の沿岸には両国の大都市が点在し、経済的に一大拠点となっており、水運も盛んで五大湖専門の船舶は勿論ですが、外洋からの大型貨物船も五大湖に入ることができます。私もこの航路には何度も就航し、往航は鋼材、復航は小麦のバラ積みで、怒濤逆巻く外洋の航海と違い、さざ波程度の湖の航海ですから気分爽快です。ところが 12 月末までに五大湖内にいる外洋船は全て出なければなりません。それは厳冬期になると五大湖の全てが凍結してしまい航行不能になるからです。ただし五大湖専用の船は砕氷能力を有しており、船首は丸みを帯びて分厚い鋼材で覆われて独特の船形をしており、冬期間も就航しております。



外洋船が入る許可が出るのが4月に入ってからで、ある年、許可第一号船の荣誉に浴したことがあります。これは春がきた証として各港で最大の歓迎を受けるからです。まさに春の使者になった気分になります。

五大湖で凍結した膨大な氷は春とともに割れて流れ出します。氷塊は小さな家位から冷蔵庫くらいと大小様々ですが、川幅一杯にセントローレンス河を流れ、湾に入り南下するのです。モントリオール市の上流で一番急流のところに



見に行きましたが、泥まみれで汚く変色した氷塊群がぶつかりあって発する咆哮が巨大な唸りになって自然が作り出す壮大な眺めと音でした。流れ出た氷塊は湾内に広がりますが、栄養分をたっぷり含んでいますから魚群が集まってきますし、それを狙って沢山の海鳥が群がっていますから、自然のサイクルは健全です。